

2008年8月5日
緑内障フレンド・ネットワーク

「世界緑内障の日」制定記念 緑内障啓発チャリティー・コンサート
天満敦子ヴァイオリン・コンサート開催
～ 緑内障視野チェック無料体験会も同時開催～

9月28日(日)午後12:30～視野チェック無料体験会 / 14:00～コンサート開演
会場：御茶ノ水 日本大学カザルスホール

緑内障の患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,641名)は、2008年9月28日、御茶ノ水 日本大学カザルスホールにて「天満敦子 無伴奏ヴァイオリン・コンサート～愛・やすらぎを求めて」を開催いたします。

「望郷のバラード」で知られるヴァイオリン奏者、天満敦子(てんまあつこ)さんをお迎えした今回のコンサートは、「世界緑内障の日」を制定、記念したもので、この機会に皆様に緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につなげることを目的としています。なお、このコンサートの収益金の一部は緑内障の研究及び啓発に役立てるため、日本緑内障学会等へ寄付します。

コンサート開演に先立ち、天満敦子さんと、東京医科大学兼任教授・東京医科歯科大学臨床教授白土城照先生による緑内障についての対談と、専門機器による緑内障視野チェックの無料体験会を予定しております。本コンサートは緑内障を知る貴重な機会と存じます。報道関係の皆様におかれましては ぜひ本コンサートの趣旨をご理解いただき、告知にご協力いただきたく、何卒宜しく願い申し上げます。

【記】

日 時: 平成20年9月28日(日)
12:30～緑内障視野チェック無料体験会 / 14:00～コンサート開演
会 場: 御茶ノ水 日本大学カザルスホール (千代田区神田駿河台1-6)
定 員: 427名
申 込 方 法: チャリティーのため1口4,500円以上のご寄付に対し入場整理券を1枚発行。
電話(緑内障フレンド・ネットワーク事務局 TEL03-3272-6971 担当:野田)もしくは
GFN ホームページ(<http://www.gfnet.gr.jp>)よりお申し込みいただけます。

プログラム: <緑内障視野チェック無料体験会> 12:30～
お一人様5～10分で専用機器を用いた緑内障無料チェック等
<対談>「緑内障とは」 14:00～
対談者:東京医科大学兼任教授・東京医科歯科大学臨床教授 白土城照先生
天満敦子さん
<ヴァイオリン・コンサート> 14:30～
演奏者:天満 敦子(ヴァイオリン)吉武 雅子(ピアノ)
演奏曲目:望郷のバラード(ポルムベルク)、アダージョ(バッハ)他

お申込み・お問合せは
緑内障フレンド・ネットワーク事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-16-501 TEL:03-3272-6971
URL: <http://www.gfnet.gr.jp> E-MAIL: info@gfnet.gr.jp

主 催: 緑内障フレンド・ネットワーク
協 力: 日本緑内障学会
協 賛: (株)朝倉メガネ 共信印刷(株)カールツァイス(株) 参天製薬(株)
千寿製薬(株) 日本アルコン(株) ファイザー(株) <50音順、敬称略>

天満敦子(てんまあつこ)氏プロフィール

東京芸大学・大学院終了。在学中に日本音楽コンクール第1位、ロン・ティボー国際コンクール特別銀賞等を受賞。海野 義雄、故レオニード・コーガン、ヘルマン・クレッパースらに師事。1992年「文化使節」として訪れたルーマニアで、「ダヴィッド・オイストラフ以来の感激」(同国文化大臣)と高い評価を受け、公演は空前の成功を収めた。翌年この訪問が縁で巡り会った同国の「薄幸の天才作曲家」ボルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介、以後この作品は天満敦子の代名詞とさえ言えるほどのクラシック界異例の大ヒット曲となった。憂いをおびた美しい旋律とともに、曲に秘められたエピソードも話題をよんだ。現在、東邦音楽大学院教授。



天満敦子氏は、ボランティアやチャリティー・イベントへの参加など、社会貢献活動にも精力的に取り組まれています。本チャリティー・コンサートの開催にあたり、緑内障フレンド・ネットワークの活動に多大なご理解とご賛同をいただき、ご協力いただける運びとなりました。

緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)という眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプが緑内障全体の約7割を占めているとされています。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためには、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ
株式会社トークス TEL:03-3261-7715 FAX:03-3261-7174(担当:伊藤/鶴澤)